

【研究に関する情報】

研究課題名	新生児期から幼児期におけるフィブリノゲン活性測定値と蛋白量測定値の乖離に関する研究
研究責任者	<所属(診療科等)> 臨床検査科 <職名・氏名> 医療技術部長兼臨床検査科長 奥村伸生
研究期間	2025 年 7 月 29 日～2026 年 12 月 31 日
研究の目的	先天性フィブリノゲン(Fbg)異常症は日常検査で測定するFbgの活性値(以下:Ac)と抗体を用いて測定する蛋白量(以下:Ag)の比(Ac/Ag)により、Fbg機能異常症(比:<0.5)、Fbg低下症(比:0.8～1.2)、無Fbg血症(測定不可)、Fbg低下機能異常症(比:0.5～0.8)の4型に分類される。ところが、新生児においては、CFDではないにもかかわらず比が0.5～0.8になる症例が多くあり、遺伝子検査の適応の有無を判断するのに苦慮している。このため、今回、新生児におけるAcとAc/Ag比の経月変化を明らかにするために本研究を計画した。
研究の方法	<対象となる患者さん> こども病院臨床検査科に日常検査のフィブリノゲン測定のために提出された患者さんの検体(血漿)のあまりを使用します。 <利用の範囲> 測定項目はフィブリノゲン・フィブリン分解産物、安定化フィブリン分解産物、フィブリノゲン蛋白量(信州大学医学医学部附属病院に依頼)の3項目を測定します。
問い合わせ先	この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に試料または情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が特定の個人を識別することができないように個人情報加工され、復元ができない場合には、引き続き使わせていただくことがあります。 <研究責任者> 長野県立こども病院 臨床検査科 科長 奥村伸生 〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 電話：0263-73-6700(代) 臨床研究支援室 ファックス：(0263) 73-5432

	＜信州大学の研究責任者＞ 信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻 新井慎平 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 電話： 0263-37-2387 （新井研究室直通） 医学部庶務係 電話：0263-37-2572 e-mail: arais@shinshu-u.ac.jp
--	---